

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果

プログラム名	ニュージーランドのアクティブラーニングを体験的に学ぶ 海外学校臨床実習	
学部・研究科名	教育学部	
プログラム 実施期間	2017年8月6日～8月13日	
研修先(国・都市・施設名)	ニュージーランド・クライストチャーチ・小学校および中間校等	
参加者数：8名		知の森からの支援者：8名
プログラム概要	本プログラムは、学校での教育実践に求められている「アクティブラーニング」をすでに日常化させているニュージーランドの学校現場を訪問し、最新の教育事情を理解するとともに、学校体験実習として公立小学校での3日間の短期実習と中学校の授業参観を通して、次世代型学習の方法論を体験的に学びとる海外臨床実習である。単なる授業参観ではなく、日本の学校教育とは根本的に授業スタイルの違う配属校での教育実習を通して、授業観・学習観・教師観の転換をせまられる現場での実習となる。また、一般家庭での夕食懇談の機会を生かして学校と家庭との連携のあり方をあらためて考える場も与えられる。事前学習での学びを含めて研修報告会で成果を発表する。	

実施状況・成果

- 【主な研修日程】8月6日(日)出国～8月13日(日)帰国
- ・8/7(月) 15:00 クライストチャーチ大聖堂前にて震災復興の取り組みを講義
* 参加学生8名に対して臨床実習のオリエンテーションを行う。
 - ・8/8(火) 08:30～15:00 学校授業体験①(授業参観): Halswell校4名、Merrin校4名
16:30～18:00 NZ学校教育研究ワークショップ
 - ・8/9(水) 08:30～15:00 学校授業体験②(授業補助): Halswell校4名、Merrin校4名
16:30～20:00 子育て家庭訪問&夕食懇談 ※2名ずつ家庭訪問
 - ・8/10(木) 08:30～15:00 学校授業体験③(授業補助): Halswell校4名、Merrin校4名
 - ・8/11(金) 09:00～11:00 学校授業体験④: Kirkwood Intermediate(中間校): 全員で学校参観と質疑応答。
14:00～17:00 振り返りワークショップ 研修

本プログラムは、
①クライストチャーチの学校現場視察を通して、日本では一般的な一斉画一型授業を「普通」と捉える考え方を刷新すること。
②子どもは一人ひとり個性的であり多様であることを前提として、それに応じた学習スタイルを発想できること。の2つを学生の到達目標に設定した。

目標は全員がほぼ達成できており、こうした機会を与えられたことの意義を再認識し、今後の学びへの発展に強い意欲を示している。特に、これまでの日本の学校での授業観の見直しが図られ、教師の役割が子どもたちに知識・技能を教え込むことではなく、子どもが自らの力で学ぶモチベーションとスキルを授け、自分なりに知識・技能を獲得していくための専門的な指導と評価をしていることを実習を通して理解することができた点は重要である。また、旅行代理店などを介さずに教員の地道なコーディネートによって、経済的に余裕のない学生たちがあきらめている海外研修を格安に設定できたことや、英会話能力に不安があつて海外研修をあきらめていた学生たちに対してグローバル人材として必要な異文化理解のセンスやグローバルなコミュニケーション能力をトレーニングすることにおいて、本研修は有効に機能した。参加した8名の学生による研修報告会は、公開で10月3日に予定されているが、そこでのプレゼンテーション内容は研修成果を凝縮した報告となる。

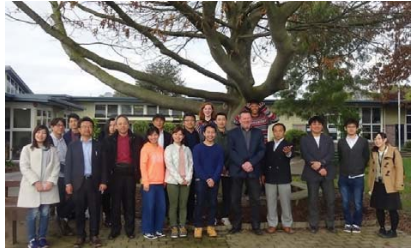
学生の声①-教育学部 学生

自分が今まで受けてきた教育との違いに驚いたり、類似点を見つけたり。日々学び、考え、刺激を受け、とにかく良い経験となりました。一言では表せない！とにかく勉強になったし、教育について(日本も海外のものも)もっと学んでいきたいと思います！この研修で関わった全ての人に感謝です！本当にありがとうございました！！

学生の声②-教育学研究科 学生

私は今まで「同じ教材」で、「同じ時間」で、「全員」で、「評価は最終テストで、良くても授業最後の共通の1問題」で評価することが多かった。今回のニュージーランド研修で、まさに自分の教育観における「選択」の幅が広がったことが大きな収穫であったと思う。さらに今後、具体的にどのような場面で、どのような展開が有効なのか等、自分の教育実践の具体に即して実践を広げていきたいと思う。

Kirkwood Intermediate校の参観を終えて



臨床実習プログラムの修了証を手にして

